



市政

菊池市政に民間企業での経験を!

意思決定・政策のチェックの場に
培った視点を活かします

活動通信

福島ひでのり

平成 30 年 9 月議会 vol.2
Kikuchi city council member Report

みなさん、こんにちは。

福島ひでのりでございます。

台風や地震による被害に遭われた方におかれましては、心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日でも早い復興を願っております。

菊池市議会議員としての活動も4か月が過ぎました。本会議においてもそうですが、議案に対する個々の案件ではなく、複数の案件を一括で採決されるときに、すべてに賛成もしくは反対ではない場合の意思表示をどのようにするべきか、戸惑うことも多々ございます。

これからはさらに、議会の使命として、執行機関の行財政の運営等が適法・適正に、かつ公平性が保たれているか、きちんと批判もできるように議会運営の知識を増やし、菊池市のために、市民目線で邁進いたします。

Profile

- 1961年 7月 菊池市七城町高田生まれ (57歳)
- 1979年 3月 七城小学校・中学校を経て、鹿本高校卒業
- 1986年 4月 日本電子材料株式会社入社
- 2009年 10月 慶応義塾大学経済学部入学
- 2012年 4月 日本電子材料株式会社韓国法人(同和 JEM) 代表理事副社長
- 2018年 3月 日本電子材料株式会社退社
- 2018年 5月 菊池市議会一般選挙に出馬し、初当選(1期目)

平成 30 年 9 月 15 日 - 16 日に、滋賀県の琵琶湖で、レガッタ(ボート)競技の全国大会があり、結果は16艇中15位のブービーでした。生まれて初めてレガッタ競技を体験しました。それなりに体力には自信があったものの、腕で漕ぐのではなく脚力を上手く使うことを習い良い経験でした。

第27回全国市町村交流レガッタ 53 議員交流B



ご意見をお待ちしています!

購読者も募集しておりますので、お知り合いにご希望される方があれば、お気軽にご連絡ください。

連絡先

〒861-1357 熊本県菊池市七城町高田 640-1
TEL: 0968-24-3087 090-9076-1245 (携帯)
発行者: 菊池市議会議員 福島 英徳

市民の声を市政に活かす 一般質問

議員個人が、市政について疑問点をたずね提案し、改めたいこと・実現したいことに関する報告や説明を求め、市長や部長等が答弁します。答弁内容から、執行部が適切な市政運営を進めているかを議員がチェックするものです。

健康推進まちづくりの 取り組みについて

福島：今回の質問内容に対しまして、誤解がないようにこれだけは先にお伝えいたします。

介護サービスを受けられることを否定するつもりは毛頭ありませんし、必要に応じて遠慮なく活用していただくべきだと思っています。

現在の介護保険制度は、必要と認められた方の介護を社会全体で支えあう仕組みであり、共助の制度であることはいうまでもありません。またご本人やご家族にとっては、とても助けになる制度でもあります。

中学生以下の完全医療費無料制度についても同様に、必要に応じて医療機関を遠慮なく利用していただくべきだと思っています。

質問の主旨にもどります。この介護制度は、支えあう仕組みで成り立っていますから、40歳からは何歳になっても保険料を納め続ける必要があります。

しかしながら、高齢者の方、例えば90歳になっても介護を必要とされない方はいらっしゃいます。そのような元気な高齢者の方も保険料を納められています。65歳以上の方の基準額は、年間78,000円です。

京都府では、平成24年から平成29年度まで、90歳になられ介護サービスを必要とされない方に、3万円の地域振興券を渡されていたとのこと。実際にそのような自治体もあります。

また、昨年12月から中学生以下を対象に、医療費の完全無料化が実施されました。子育て世代の方々にとっては、安心できる制度だと喜ばしく思います。

本市としての介護予防や予防健康への取り組みについてお聞かせください。

健康福祉部長：高齢者への取り組みは、健康の予防として地域の自治公民館等を活用した、100歳いきいき体操を行っています。これは、筋力の維持はもちろんのこと、からだの健康だけではなく、地域づくりの場・交流の場として、心の健康にも効果があると考えています。

福島：本市でも取り組まれている、初期段階での治療や予防接種、そして特定検診の受診率向上等、水際での予防が大切だと考えております。

「表彰されたい」、「報奨を受けたい」からといって、我慢や無理をすることは絶対に避けるべきですが、日頃から予防健康に取り組み、結果健康で元気な高齢者や子供たちに、ありがたいの気持ちを伝えるためにも報奨制度ができればと思いますが、市長の考えをお聞かせください。

市長：・・・・・・(答弁いただけず)

健康福祉部長：報奨制度ではありませんが、いきいき100歳体操に参加されている90歳以上の方々に長寿になる目標となることと尊敬の意も込めて表彰状を授与したところ、大変喜ばれたところです。また健康づくりポイント事業において、健康づくりや介護予防の面からもポイントを付与する取り組みを準備中です。ご質問とは直接関係はありませんが、3歳児検診時に、むし歯ゼロの児童を毎月“歯ッピーキッズ”で広報誌に載せています。

中学生以下の完全医療費無料化に拡充したばかりでもあり、まずは検証が必要だと考えています。

報奨制度に関してはいずれも考えてはいません。

菊池市への観光客をいかにして増やしていくか

福島：市長は常日頃、菊池市は宝の山だとおっしゃっています。

そこで、宝の山の菊池市に観光客をいかにして増やしていくか？

まず、菊池市の魅力は何だと思われるのかを、改めてお尋ねします。

次に、海外からの新規やリピータを増やす取り組みについてお尋ねします。

それらから、これまで菊池市の魅力を活かすために取り組まれてきたことと、その成果についてお示しくください。

経済部長：日本名水百選の菊池溪谷、菊池一族の歴史や文化、日本名湯百選の菊池温泉、そして全国でも上位の豊富な農林畜産物が挙げられます。

熊本地震以降閉鎖していた菊池溪谷も、今年3月の再開以来例年以上に、癒しの観光スポットとして改めてその魅力を発信しています。

NHKの「西郷どん」にあやかり、ストーリーブック等でアピールすることにより、全国に30万人といわれる菊池性を名乗られるみなさまを中心に菊池ファンづくりに取り組んでいます。

海外からの新規・リピーター獲得のための取り組みとしては、インバウンドの拡大や熊本県・山鹿市・和水町で作っている県北観光協議会で、熊本空港を拠点として台湾をターゲットに誘致活動を行っています。

福島：菊池溪谷を観光目玉の一つとおっしゃいました。同感です。菊池溪谷への入谷者数は今年3月の再開以降、震災前(平成27年)に比べて20%増加しています。しかしながら、近場での駐車場確保が困難な状況において、本市としては駐車場拡張等のインフラ整備についてはどのようにお考えですか？

経済部長：菊池溪谷近隣の駐車場拡張は、阿蘇くじゅう国立公園でもあり、新たに設置するのは難しいため、通常は溪谷入口の第一駐車場と下流の第二駐車場を使用していますが、夏休みや紅葉の繁忙期は、入口から阿蘇方面に約1.5km離れた中央駐車場を開放して、そこからシャトルバスを利用してもらっています。

福島：近場で駐車場の拡張が難しいことはわかりました。しかし現状シャトルバスの運行状況に満足はできていないと思います。もっと頻繁に運行させるため駐車料金を普通車以下、現行の200円から500円に上げてでも利用者にストレスを与えない取り組みは急がれる課題だと考えます。

ここからは提案です。

海外からの宿泊者数は、震災前に比べると年間で2倍程度(2万人から4.2万人)に増えています。外国人労働者の方も平成29年10月末現在で、960名いらっしゃいます。このような海外からの観光客や研修生も含めた労働者が自国に帰った時、菊池市をPRしたいと思える環境をつくるべきだと考えます。海外の方や若い方の多くはSNSを活用して、インスタグラムにアップすることで、良さも悪さも拡散してくれます。

そのインスタグラムを活用したインスタ映えするスポット。これは菊池の魅力である、菊池溪谷であり、菊池温泉、菊池一族の歴史と文化、そして何といても農林畜産物を核とした食文化を、もっとブラッシュアップして、海外も含めた全国規模での「インスタ映えコンテスト」を行うことで、菊池市を全国的にアピールするのはどうでしょうか！まずは菊池市を知ってもらう。認知度を上げる工夫が必要であり、現状行っている一方的な発信方法ではなく、参加型にすることが効果的です。

それには、地元の企業や団体からも協賛をいただき、官民共同で菊池市を活性化できればと思っています。

先月の8月18日と19日に、熊本県ボート協会主催のコッコファームカップレガッタが、竜門ダムで開催されて、テレビのニュースでも取り上げられています。そこで大会冠の松岡社長は、「これを機に竜門ダムのレガッタ、そして菊池市の魅力を広めていきたい」とコメントされていました。

まだ埋まったままかもしれない、菊池市の宝(魅力)を菊池市内外の方々に掘り起こしていただく機会を設けませんか！その一つの手段として、先ほども申し上げた、海外も含めた全国規模のインスタ映えコンテストを、地元の企業や団体ともコラボレーションすれば、菊池市を全国にアピールできると思います。私は市長が日頃おっしゃっている宝の山には、そのポテンシャルが十分にあると思いますが、市長の考えをお聞かせください。

市長：菊池の良さはまさに自然にあると思っています。価値観も変わってきており、5、6年前から足元に眠っている宝を掘り起こすことで、中にいたら気づかないことを、気づかせることが大事であって、そのプロセスを踏んでいるところです。

ご提案のインスタ映えコンテストは時代に合っていると思いますし、参画者が若い世代に限る可能性もありますが、検討していきたいと思っています。

インバウンド ☞ 元々は「外から中に入り込む」という意味ですが、外国人の訪日旅行の意味で使われることが多いようです。

SNS ☞ Social Networking Service (ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の略で、人と人との交流を手助け・促進するためのインターネット上のサービスです。

インスタグラム ☞ SNSに含まれますが、他のSNSとの大きく違うポイントは、文章での情報ではなく写真や動画で自分が伝えたいことを表現するSNSです。



9月議会でのできごと

気になった一般質問！

福祉厚生委員会での提案！

みなさまにはあまり馴染みがないかもしれませんが、6月に発行された機関紙(月刊ポリシー発行)に、菊池市中央図書館の椅子購入に関する記事が掲載されました。指名競争入札の経緯や、落札後のずさんな菊池市の対処について、直接聞きたく当社に電話をしましたが、残念ながら不在で聞き取りはかないませんでした。

記事が載った後も大して騒がれることもなかったため静観していたところ、9月定例議会で荒木崇之議員から菊池中央図書館の閲覧用いす購入に関して、厳しい一般質問が行われました。

金額の多少にかかわらず、議会はチェック機能を果たすのは義務であり、また執行部は市民が納得するような丁寧な説明が当然です。もしも瑕疵(かし)があるのであれば、謝る勇気ももたなければなりません。

本議会での反省点として、議案第83号(平成29年度一般会計歳入歳出決算認定)で上記の図書館椅子に対する反対討議がありました。椅子購入に関しては同意見でしたが、同議案による別の反対討論には同意できなかったため、議案には賛成の立場をとったことです。もっと議会運営の知識を学び取り、きちんと意思表示を行えるよう努めてまいります。

- 1 入札は13社指名に対して9社が入札辞退で4社が応札
- 2 入札した会社は、指定された椅子(地場業者が独自に発注することが困難な外国製で、1社限定の特注)を納入できないばかりか、菊池市は元々同等品不可としながらも、代替椅子(価格は2割増)の納入を認めた。更には、その落札業者にその費用負担をさせないどころか、納期優先とのことで、空輸運賃まで支払っている。

一般質問で取り上げられた菊池市中央図書館の閲覧用いすはこちらです。



機会がございましたら、一脚10万円の閲覧用いすをご体験ください。



☆つまごめ荘の民営化に向けて、入所者が安心できる環境をつくるのが肝要です。移譲先(社会福祉法人)選定には、公平性と透明性からも選定の評価基準や評価内容の公開は求めますが、移譲先事業者選定委員会の委員選定は慎重に行い、委員に対してはどこからも圧力がかかるといけないように求めています。

☆菊池市では、近隣の市町(合志市・菊陽町・大津町)にはない、すくすく子育て祝金制度があります。毎年1千万円強を支払われていますが、現状の10倍程度増やすことで、若い世代の方々が定住したいと思えるであろう提案をしました。

平成29年度の歳出額は、約337億円です。無駄とは言いきれませんが、削れる予算を探して祝金を今の10倍以上支給できるように取り組みます。



Focus

☆議案第92号については水道使用料の不納欠損141万6000円が計上されましたが、不納欠損する場合は議会に報告義務があると、経済建設委員より指摘されました。水道使用料の債権放棄の報告が後日議会へ報告されました。各委員会においても、議案の不納欠損が多くみられました。特に私債権に関しましては、公共の不平等をなくすためにも注視いたします。

☆議案第95号では、工事請負契約の変更を追加議案とされました。平成30年4月23日に議決を経た、菊池市ふるさと創生市民広場(旧菊池グラウンド)再整備1期工事費用を、1千百万円以上も増やすといった内容です。

- *夜間歩行者安全のための照明費：330万円
- *グラウンドの芝の変更費：310万円
- *転落防止策：110万円

指名競争入札において、明らかに見積もりミスと考えることが、簡単に修正できる本市執行部のシステムに疑問が残りました。

☆議案第74号の菊池市営グラウンド条例の改正では、資料の添付不備がありました。委員からの指摘で訂正が行われたように、今議会では、執行部の不備が目立っていたように感じます。